



2026 年 9 月 17 日
コスモ石油株式会社
丸善石油化学株式会社
宇部丸善ポリエチレン株式会社
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

SAF 製造工程で併産されるナフサの活用の開始について

コスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司、以下「コスモ石油」）、丸善石油化学株式会社（代表取締役社長：舟橋 克之、以下「丸善石油化学」）、宇部丸善ポリエチレン株式会社（代表：勝田 正彦、以下「宇部丸善」）、および合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）、は、このたび、コスモ石油堺製油所内での SAF(Sustainable Aviation Fuel:持続可能な航空燃料)製造工程で併産されるナフサの活用を開始することをお知らせします。

本取り組みは、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とするバイオジェット燃料製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業として採択され取り組んできたもの※1で、コスモ石油堺製油所内の SAF 製造装置は国内初の大規模設備として 2024 年 12 月に完工し、2025 年度から生産を開始しています。同装置から得られる、廃食用油由来の本件ナフサも、持続可能な製品の国際的な ISCC(International Sustainability and Carbon Certification：国際持続可能性カーボン認証)認証制度を取得しています※2。



SAF 製造装置（コスモ石油堺製油所内）

< 廃食用油由来のナフサの特長 >

- ・ 国内資源を主活用することにより、輸送由来の環境負荷を低減
- ・ 従来と同様の製造工程で使用可能
- ・ ライフサイクル全体での環境負荷低減（CO2 排出削減）

< 各社の役割 >

- ・ SAFFAIRE SKY ENERGY：廃食用油由来のナフサの製造
- ・ コスモ石油：廃食用油由来のナフサの供給（マスバランス方式※3）
- ・ 丸善石油化学：基礎化学品の製造
- ・ 宇部丸善ポリエチレン：ポリエチレンの製造およびプラスチック製品への展開

1. 本取り組みの背景と今後の展開

カーボンニュートラルの実現に向け、化学産業では原料段階からの CO2 排出削減が求められています。ナフサは様々な化学製品の基となる基礎化学品の原料であり、その低炭素化はサプライチェーン全体の環境負荷低減に不可欠です。バイオマス原料から製造されるナフサは、従来の化石燃料由来のナフサに比べ環境価値の高い製品であり、持続可能な資源の一つとして期待されています。

本取り組みで活用される廃食用油由来のナフサは、コスモ石油堺製油所内の SAF 製造装置で SAFFAIRE SKY ENERGY が生産する SAF の連産品です。コスモ石油が供給する廃食用油由来のナフサに関する環境価値を付与した化学品原料を起点に、丸善石油化学および宇部丸善ポリエチレンが連携し、原料から最終製品まで一貫した低炭素サプライチェーンを構築します。本取り組みにおけるナフサの受け渡しは、ISCC PLUS 認証※4※5 に基づき、マスバランス方式を用いて実施されます。

4 社は今後、供給量の拡大および用途開発を通じ、化学・繊維・包装分野など幅広い産業の脱炭素化を推進してまいります。また、国産バイオ資源の利活用を拡大し、循環型社会の実現に貢献していきます。

2. 各社のコメント

○コスモ石油株式会社

ISCC PLUS 認証を活用した本取り組みは、持続可能な原料に係るトレーサビリティの確保およびマスバランス方式による適切な管理を推進するものです。

当社は今後も持続可能な原料の活用拡大に取り組んでまいります。

○合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

2021 年より、日本政府、経済産業省資源エネルギー庁および NEDO のご支援のもと、日揮ホールディングス株式会社、コスモ石油株式会社、株式会社レボインターナショナル

とともに国産 SAF の事業化を推進してまいりました。本取り組みにより、SAF の製造に加え、その連産品である廃食用油由来のナフサが化学品原料として活用される新たな価値創出が実現しました。国内の廃食用油を原料とする資源循環の成果が、航空分野のみならず化学産業の脱炭素化にも貢献できることを大変意義深く感じています。今後も持続可能な資源循環の拡大と、国産バイオマス資源の有効活用に取り組んでまいります。

○丸善石油化学株式会社

廃食用油由来のナフサを原料とする誘導品や製品群を認証制度に基づいたマスバランス方式により割り当て、ISCC PLUS 認証製品としてサステナブルな製品の販売拡大を目指します。

○宇部丸善ポリエチレン株式会社

環境配慮型原料を活用した製品開発を進め、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

4 社は、ISCC の最新の規定に則り、ISCC PLUS 要求事項に準拠することを約束し宣言します。

※1 NEDO ウェブサイト

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

※2 2024 年 12 月 13 日プレスリリース

「ISCC CORSIA 及び ISCC EU」認証（国際持続可能性カーボン認証）取得について」

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2024/241213-01.html>

※3 サステナブル原材料（バイオマス・再生由来などの原材料）と化石由来の原材料が混合された場合に、その投入量比率に応じて製品の一部又は全部にサステナブル原材料の量を割り当てる手法のことで、化学工業分野の複雑なサプライチェーンにおける持続可能性を保証するための有効な手法です。

※4 持続可能な製品の国際的な認証制度。

参考：<https://iscc-system.org/certification/certification-schemes/iscc-plus/>

※5 コスモ石油、丸善石油化学、宇部丸善はそれぞれ ISCC PLUS 認証を取得しています。

2023 年 7 月 24 日 コスモ石油、プレスリリース：

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2023/230724.html>

2023 年 7 月 24 日 丸善石油化学プレスリリース：

<https://www.chemiway.co.jp/news/shousai152.html>

2025 年 11 月 26 日 宇部丸善プレスリリース：

https://ube.co.jp/ump/pdf/20251126_01.pdf

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

コスモエネルギーホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 横山・秋岡
cosmo_pr@cosmo-oil.co.jp

【丸善石油化学株式会社】

総務部 広報グループ 松本
mpckoho@chemiway.co.jp

【宇部丸善ポリエチレン株式会社に関するお問い合わせ先】

管理部 霜鳥
28575u@ube.com